



御田小 研究だより

平成27年10月30日
港区立御田小学校
校長 三浦 和志

第3回研究授業報告

10月6日(火) 3校時 3年1組
7日(水) 5校時 3年2組
(授業者 岩崎 薫)

<理科> 単元名「ものと重さ」

<単元でねらっていること>

同じ大きさで形の違う物の重さを比較しながら調べ、見いだした問題を興味・関心をもって追究する活動を通して、形や材質の違いによる物の重さについての見方や考え方を養う。

【ユニバーサルデザイン化の視点から】

グループで一つの粘土を操作することで、課題意識をもって実験を見合い、実験結果を共有できるようにしました。(共有化)



電子はかりの粘土を置く位置に印をつけ、粘土の置き方による誤差が出ないようにしました。(視覚化)

この時間は、物の形と重さに限定して調べ、物は形が変わっても重さは変わらないことをとらえられるようにしました。(焦点化)



1 形 重さ 30 30 30 30	5 形 重さ 30 30 30 30
2 形 重さ 30 30 30 30	6 形 重さ 30 30 30 30
3 形 重さ 30 30 30 30	7 形 重さ 30 30 30 30
4 形 重さ 30 30 30 30	8 形 重さ 30 30 30 30

個人や各グループの実験結果を表に整理し話し合うことで実験結果を共有しました。(共有化)

〈授業を終えて〉

今回の授業では、子供たちが思い思いの形に粘土の形を変え、変える前と変えた後の重さを、電子ばかりで量りました。予想では「重くなる」「軽くなる」「重さは変わらない」という意見が出ましたが、実験では、どの子も「30gで重さは変わらなかった!」という結果になりました。

今後も、予想を立てたり、結果を比較したりする機会を意識的に設定することで、子供たちの科学的な見方や考え方を伸ばしていきたいと考えています。